

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成21年度には、平成20年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,659事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
原油・天然ガス鉱業	1	3	その他の製造業	7	6
食料品製造業	10	7	電気業	8	5
飲料・たばこ・飼料製造業	5	5	ガス業	2	2
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	熱供給業	2	1
家具・装備品製造業	3	5	下水道業	40	30
パルプ・紙・紙加工品製造業	13	6	鉄道業	1	1
出版・印刷・同関連産業	14	17	倉庫業	9	20
化学工業	144	152	石油卸売業	15	5
石油製品・石炭製品製造業	13	26	鉄スクラップ卸売業	1	1
プラスチック製品製造業	44	53	燃料小売業	716	6
ゴム製品製造業	9	42	洗濯業	14	4
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	自動車整備業	119	6
窯業・土石製品製造業	19	20	機械修理業	2	2
鉄鋼業	13	25	商品検査業	2	4
非鉄金属製造業	24	27	計量証明業	3	2
金属製品製造業	92	32	一般廃棄物処理業	52	31
一般機械器具製造業	43	27	産業廃棄物処分業	19	33
電気機械器具製造業	65	34	高等教育機関	9	6
輸送用機械器具製造業	93	42	自然科学研究所	24	15
精密機械器具製造業	6	6			
武器製造業	1	1	合 計	1,659	172

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	507	逗子市	3	綾瀬市	37	開成町	7
川崎市	223	三浦市	7	葉山町	5	箱根町	10
相模原市	123	秦野市	52	寒川町	24	真鶴町	—
横須賀市	70	厚木市	76	大磯町	4	湯河原町	2
平塚市	110	大和市	50	二宮町	1	愛川町	29
鎌倉市	31	伊勢原市	34	中井町	4	清川村	2
藤沢市	79	海老名市	27	大井町	7		
小田原市	52	座間市	26	松田町	1	合 計	1,659
茅ヶ崎市	34	南足柄市	15	山北町	7		

※ 真鶴町は届出がありませんでした。

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 19,487 トンであり、その内訳は、総届出排出量 7,927 トン、総届出移動量 11,560 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 7,598 トン、公共用水域への排出 329 トン、事業所内での埋立処分 1,600mg-TEQ（ダイオキシン類のみ）でした。なお、土壌への排出はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 11,462 トン、下水道への移動 98 トンでした。

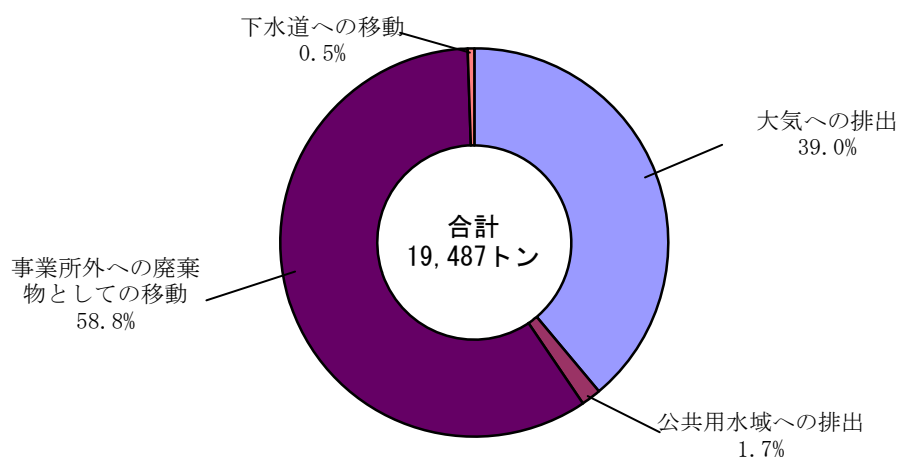


図1 総届出排出量・移動量

イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位10物質の合計は14,862 トンで、総届出排出量・移動量19,487 トンの76.3%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。

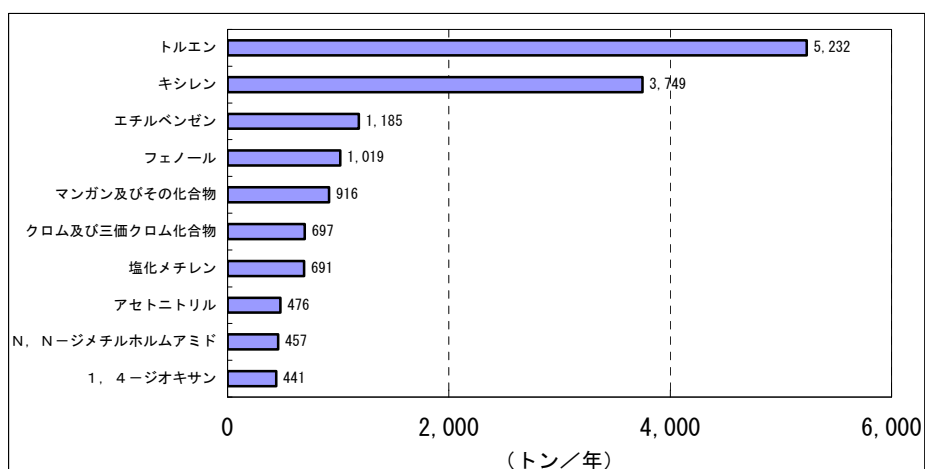


図2 届出排出量・移動量上位10物質

ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 7,350 トンで、総届出排出量 7,927 トンの 92.7%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

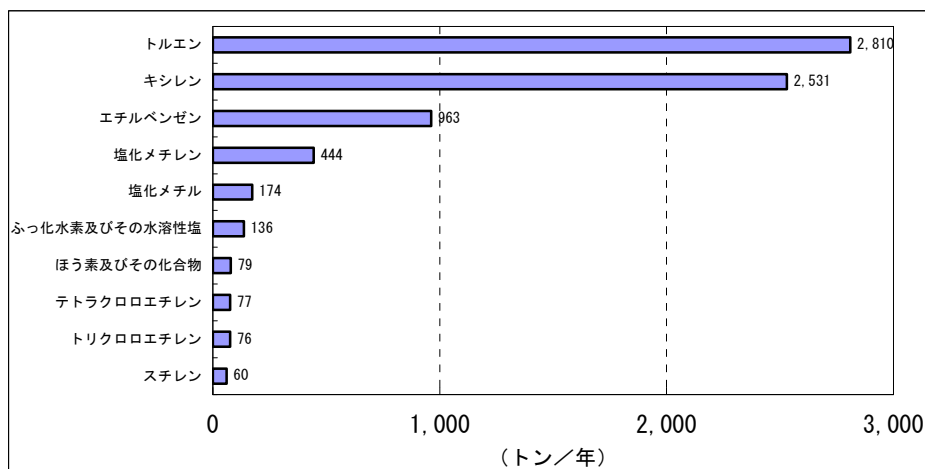


図3 届出排出量上位10物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,222 トンで、総届出移動量 11,560 トンの 71.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

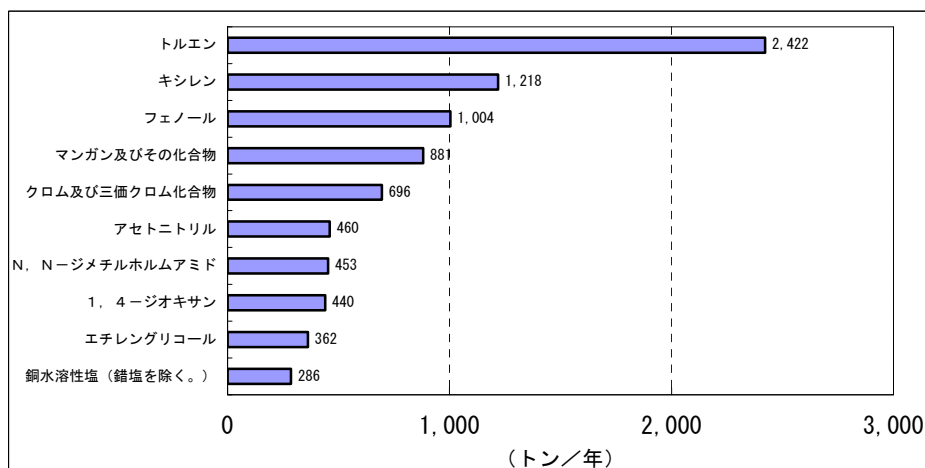


図4 届出移動量上位10物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(ア) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 7,237 トンで、大気への排出量全体 7,598 トンの 95.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

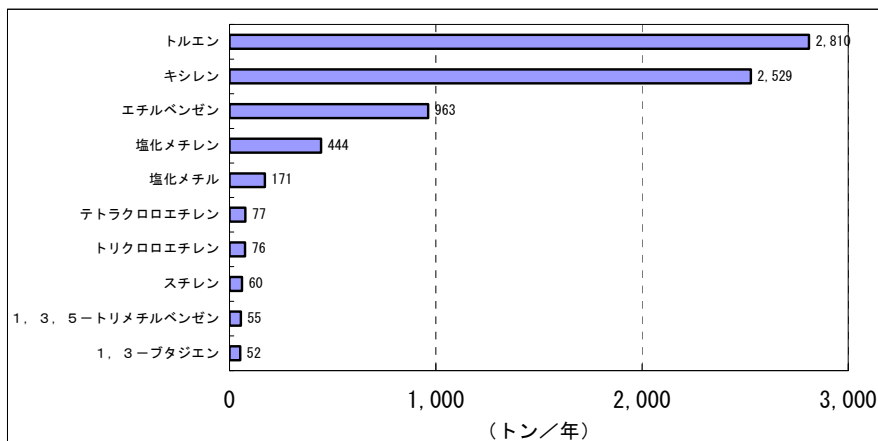


図5 大気への排出量上位10物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 313 トンで、公共用水域への排出量全体 329 トンの 95.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

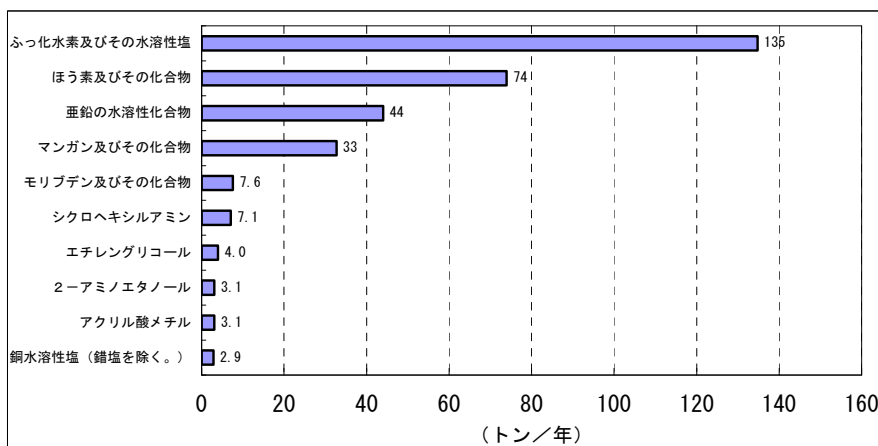


図6 公共用水域への排出量上位10物質

(ウ) 土壌への排出状況

平成 20 年度は、土壌への排出の届出はありませんでした。

(エ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出があったのは、ダイオキシン類のみで、埋立処分の量は 1,600mg-TEQ でした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,170 トンで、廃棄物としての移動量全体 11,462 トンの 71.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

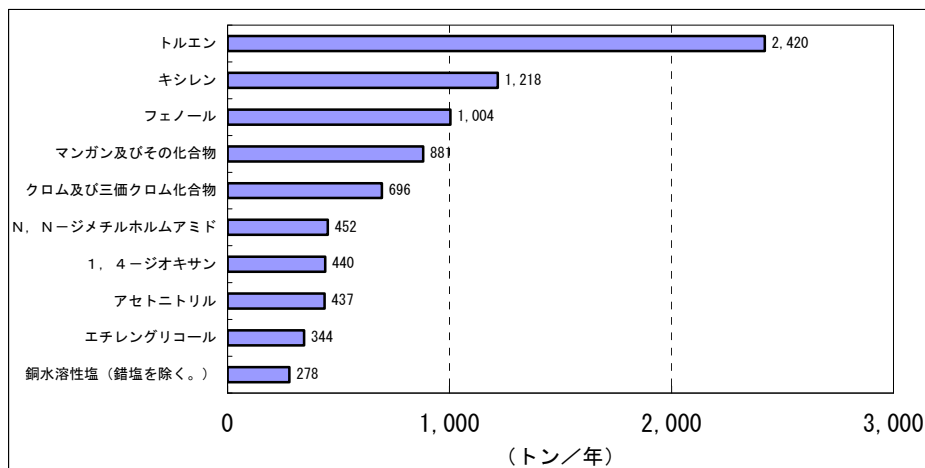


図7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 91 トンで、下水道への移動量全体 98 トンの 92.9%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

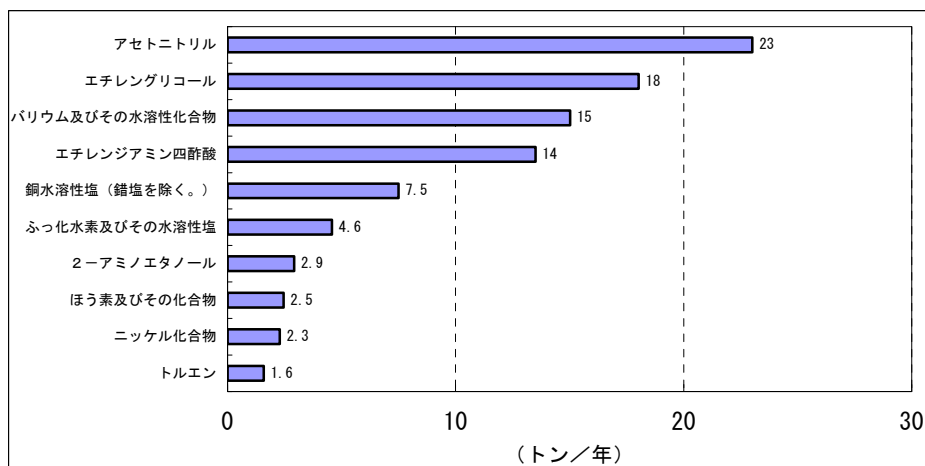


図8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

製造業からの届出排出量・移動量の合計は 18,757 トンで、総届出排出量・移動量 19,487 トンの 96.3%を占めます。

また、届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 17,948 トンで、総届出排出量・移動量の 92.1%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

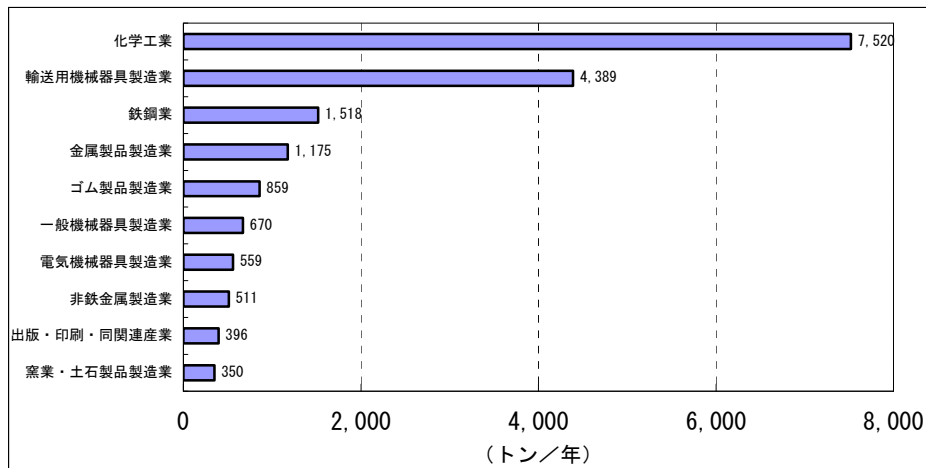


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

製造業からの届出排出量の合計は 7,568 トンで、総届出排出量 7,927 トンの 95.5%を占めます。

また、届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 7,404 トンで、総届出排出量の 93.4%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

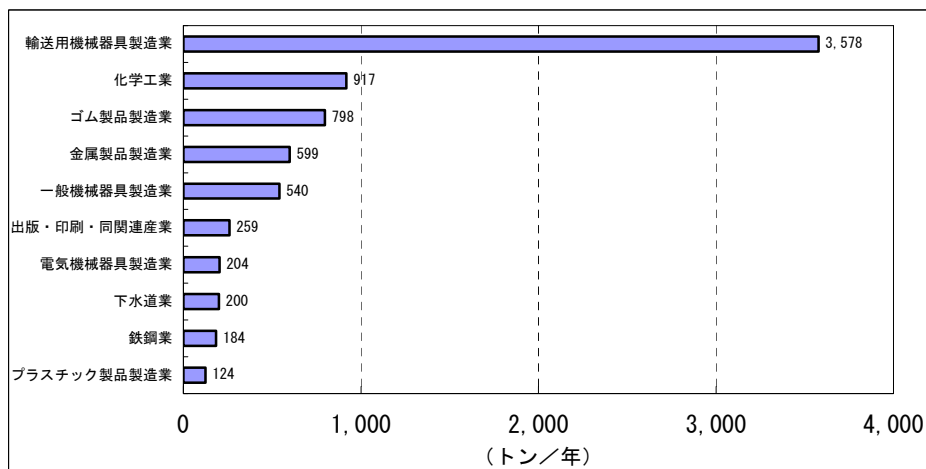


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

製造業からの届出移動量の合計は 11,189 トンで、総届出移動量 11,560 トンの 96.8%を占めます。

また、届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 11,031 トンで、総届出移動量の 95.4%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

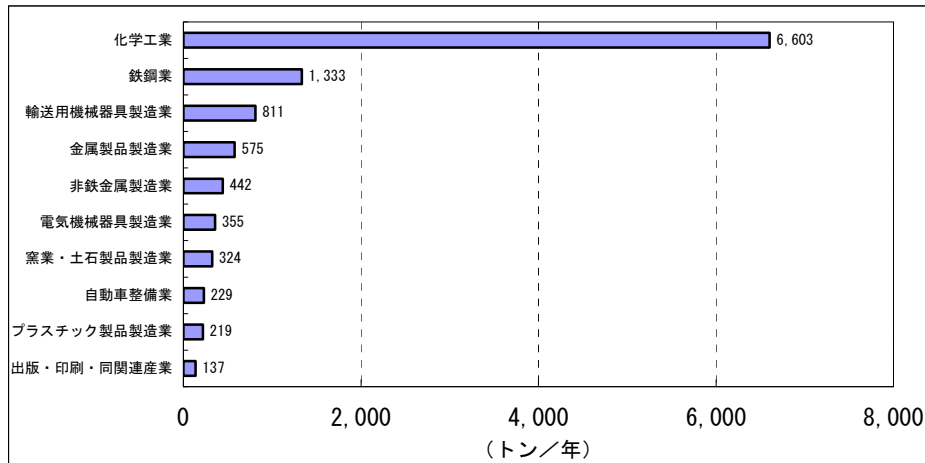


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 12 物質のうち、本県では次のとおり 9 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
ニッケル化合物	3	1,211	0	0	1,214	94,769	2,287	97,056	98,269
六価クロム化合物	2	220	0	0	222	63,813	4	63,817	64,039
ベンゼン	43,767	259	0	0	44,026	845	0	845	44,871
石綿	0	0	0	0	0	10,670	0	10,670	10,670
塩化ビニル	7,800	54	0	0	7,854	0	0	0	7,854
エチレンオキシド	7,461	0	0	0	7,461	26	0	26	7,487
砒素及びその無機化合物	4	24	0	0	28	1,644	1	1,645	1,673
カドミウム及びその化合物	0	28	0	0	29	72	0	72	101
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メトキサレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類	3,278	48	0	1,600	4,926	109,270	5.3	109,275	114,202
合計	59,036	1,797	0	0	60,833	171,840	2,291	174,131	234,964